

ゆうあい報 おたぴたる

新年号



特定医療法人
祐愛会織田病院 ODA REGIONAL MEDICAL CENTER

発行者 祐愛会織田病院企画室
責任者 織田 正道 <院内報>

急性期医療から在宅医療へのシームレスな流れを加速する！ — 二〇一二年グループ方針 —

特定医療法人祐愛会理事長
織田 正道

新たな希望を抱きながら、二〇一二年がスタートしました。

昨年二〇一一年は、三月十一日の東日本大震災によって、日本人にとって忘れられない年となりました。改めて被災地の日も早い復興を心から祈りたいと思います。

さて、今年の新成人は百二十万人と、これまでで最も少なかったようですが、先日新聞に、特記すべき記事が載っていました。その内容は、成人式のアンケート調査にて、新成人の八割近くが「自分たちの世代が日本を変えていきたい、良くなってほしい」と考えていると言った喜ばしい記事でした。今や日本だけではなく、欧州や米国までもが、多くの困難に直面しており、世界が大きく変わり始めています。このような激動の時代に、これからの日本を背負う若い人たちが、この様な気概を持っていくことに、勇気を貰ったような気がします。我々も、未来への夢と希望を持ち、今年も新たな目標に向かって進んでいきたいと思えます。

先般、政府が提示した「社会保障・税一体改革案」において、二〇一五年における医療・介護サービスのあり方の具体的なイメージが示されました。この内容は、我々が目指している方向と基本的に一致しています。今年も、これまでの取り組みを更に発展させ、保健・予防・医療・介護の一体的サービス提供が可能となるような質の高い「総合ヘルスケアシステム」の構築を進めていきます。当地域は、七五歳以上の人口増加が、全国より五年一〇年早く進んでおり、今後八五歳以上の高齢者人口も急激に増加していくことが明らかになっています。このように地域人口年齢構成が変化の中で、急性期医療のあり方も変わってきています。今年も特に在宅医療との連携に向けた取り組みを加速させたいと思えます。まずは当院の開放型病床登録医の先生方と具体的な方策を検討し、在宅療養支援診療所のバックアップ機能の強化を図ります。並行して、訪問看護ステーションとの連携強化を進め、看護スタッフの増員もおこないたいと思えます。

また、介護分野においては、国が進める「地域包括ケアシステム」の構築に迅速に対応する

ため、一般社団法人「ゆうあい社会福祉事業団」を開設します。これにより利用者のニーズに合わせて、個別性を重視した多機能で多様性のある在宅サービスの展開が可能になるものと考えます。

それではここに「二〇一二年グループ方針」を示します。

◎二〇一二年グループ方針

「超高齢社会のニーズに対応し、地域の人々が安心して健やかな生活が送れるように、保健・予防・医療・介護の各分野がシームレスに提供できる総合ヘルスケアシステムの構築を目指します。」

○保健・予防分野

「地域の人々の健やかな暮らしを守るため、生活習慣病の予防・改善に継続的に取り組みます。」

- 一 人間ドック、専門ドック(脳・乳腺ドック)、二次検診へ積極的に取り組みブランド化を図る
- 二 行政と協力して特定健診・特定保健指導の受診率アップに努める
- 三 ヘルスアップ事業(ウォーキング教室)の継続を図る
- 四 糖尿病はじめとする生活習慣病市民公開講座を恒例化(隔月)し、地域への浸透を図る

○医療分野

「地域の人々に信頼される急性期病院として、更なる医療の質の向上と、効率化を目指します。また、在宅医療や介護分野と一体的なサービスを進めます。」

- 一 地域に選ばれる病院づくり
 - ①急性期機能の充実を図る
 - ・ 常勤医師の三〇人体制に向け、積極的に医師確保を行う
 - ・ 救急患者受入れ体制を充実し、救急隊との連携を強化する
- 二 地域に選ばれる病院づくり

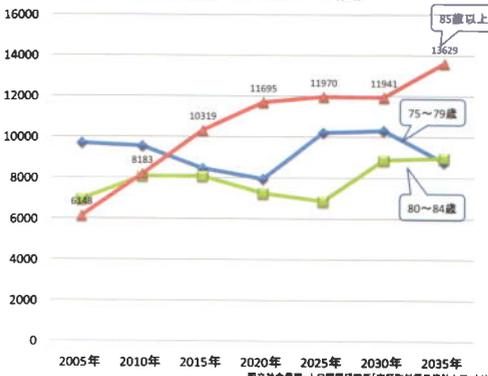
- ・ 紹介患者を増やし、新規入院患者一〇%増を目指す
- ・ 在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションのバックアップ機能を強化する
- ② 地域の連携を推進する
 - ・ 連携センターを地域医療・介護連携の要とし、更なる充実を図る
 - ・ 医療と介護(基本)情報を電子化し、グループ内の一元化と共有化を図る
 - ③ 更なる医療の質向上を目指す
 - ・ TQM (Total Quality Management) を推進する
 - ④ コミュニケーション能力を向上する
 - 二 スタッフに選ばれる職場づくり
 - ① 医師・看護師・薬剤師・ドクタークラーク・コメディカルなど多職種役割分担を明確化し、チーム医療を推進する
 - ② ワークライフバランス(多様な勤務形態)を推進する
 - ③ 二四時間保育を整備する
 - ④ 業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮を目指す
 - ⑤ 人事制度の刷新を行う(考課者のマネジメント教育徹底)
 - ⑥ グローバルナースの採用と育成を強化する
 - 三 セイフティーマネジメント(医療安全・院内感染防止)の更なる向上に努める
 - 四 海外研修の充実を図る
 - ・ Palmoni Medical Center (ハワイ) 研修プログラムを確立する
 - 五 二〇一二年病院設備計画認定更新に取り組む
 - ・ 各部署からなる準備委員会スタート

○介護分野

「医療との一体的サービス提供を進めると共に、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを進めます。」

- 一 地域包括ケアシステムの実現を目指す
 - ① 介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の充実を図る
 - ・ 回転率一〇%以上、在宅復帰率五〇%以上を維持する
 - ・ ショートステイの拡大、ルームシェアリングを進める
 - ・ リハビリ機能の充実を図る
- ② 医療とのシームレスな連携を推進する
- ・ 医療との基本電子情報の一元化と共有化を推進する
- ③ 新たな事業の展開と既存事業のバージョンアップを図る

図)南部医療圏75歳以上人口の推移



- ・ 認知症デイサービスを二カ所新規開設(古枝、七浦)する
- ・ 認知症デイサービス「ほのぼの」十二時間サービスタ提供を進める
- ・ 小規模多機能型居宅介護のサテライト開設に向けて取り組み
- ・ 二十四時間型定期巡回・随時対応型サービス導入に向けて取り組み
- ・ サイバ付付き高齢者向け住宅開設に向けて取り組み
- ④ 人材採用・育成のための専属部門開設する
- ・ 介護スタッフの能力向上に向けて、「認知症ケア」の教育研修を強化する
- ・ コミュニケーション能力を向上する
- ・ 外国人介護スタッフの採用と育成を強化する
- 二 スタッフに選ばれる職場づくり
- ① ワークライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進する
- ② 子育て支援体制を充実する
- ③ 業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮を目指す
- ④ 人事制度の刷新を行う(考課者のマネジメント教育徹底)
- ⑤ セイフティーマネジメント(転倒転落防止、院内感染防止)の更なる向上に努める
- ⑥ 地域密着サービスは、「ゆうあい社会福祉事業団」への円滑な事業所変更を進める

ゆうあいビレッジの展望 地域包括ケア

実践に向けて

ケアコートゆうあい施設長
千々岩 親幸

年が明けて、今年四月の介護保険制度改正がいよいよ間近に迫ってきました。皆さんもご存知の通り日本は超高齢化の階段を急速に駆け上がっています。二〇一五年にはいわゆる団塊の世代の方々すべてが(前期)高齢者となり、二〇二五年には七五歳以上の後期高齢者になります。現在の状況からも推測が容易ですが、今後、独居世帯や老老世帯の増加・認知症高齢者の増加・大都市圏での急速な高齢化の進展が予測されます。急速な高齢化によりもたらされるものが要介護者の急増です。二〇〇〇年から施行された介護保険制度は当初より将来的な高齢者の急増を念頭に制度設計されていると考えられ、三年ごとの改正が行われていますが、二〇〇六年に介護予防サービスと地域密着型サービスの創設という大きな改正がなされその六年後の今年、厚生労働省が「地域包括ケア元年」と位置づける改正が行われる予定です。地域包括ケアシステムとは、高齢者や要介護者が住みなれた地域で生活を継続できるように日常生活圏域において医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを一体的に提供する体制のことです。

一月末には詳細が明らかになる予定ですが、今回の改正の方向性として一番目に「入院から施設へ、施設から地域へ」の流れの強化、二番目は病院から退院し在宅や介護施設、高齢者住宅で終末期医療を行い病院死から地域死をめざす、三番目は今回の改正の重要課題である医療・介護連携で、この連携が機能するようになる地域包括ケアシステムが効果的に動き出すと考えられています。四番目に要介護者の軽度抑制と重度の評価です。社会保障費増加の抑制のためには財政配分の重点化・効率化を推進する必要があります。軽度者の報酬の引き下げが行われ、将来は要支援の方は介護保険から外されると考えられます。以上のような四つの流れが基本となり改正が今後も行われ二〇二五年に地域包括ケアシステムが完成する段取りとなっています。

このような方向性の中、祐愛会では多様なサービスの充実を図っており、これまでにサテライト通所系サービスの増設、施設系サービスとして介護付き有料老人ホームの「レジデンスゆうあい3丁目」、新たなサービスとして注目されている小規模多機能施設を建設しました。今年も二ヶ所の認知症デイサービスの開設が予定されており、さらには新たな居宅系サービスも検討中です。介護保険の大規模な施設である特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型病院も大きく変わろうとしており、特に老人保健施設は「施設から地域へ」の流れの中、機能の明確化・重点化が促進されることが決定的で、在宅復帰支援・在宅療養支援・介護予防・リハビリテーションに重点を置いた報酬改定がなされるようです。具体的には老健入所では在宅復帰率五〇%、ベッド回転率一〇%といった高いハードルが設定され、将来的にはこれらの数字をクリアできない老健は一般的な有料老人ホームへ整理統合されるのではないかとされています。ケアコートゆうあいも地域の老人保健施設として生き残るべく在宅復帰・療養支援機能、予防、リハビリのさらなる充実を図り、地域包括ケアの中核施設となれるように努力しております。

内視鏡センター内に新しい透視室が完成!

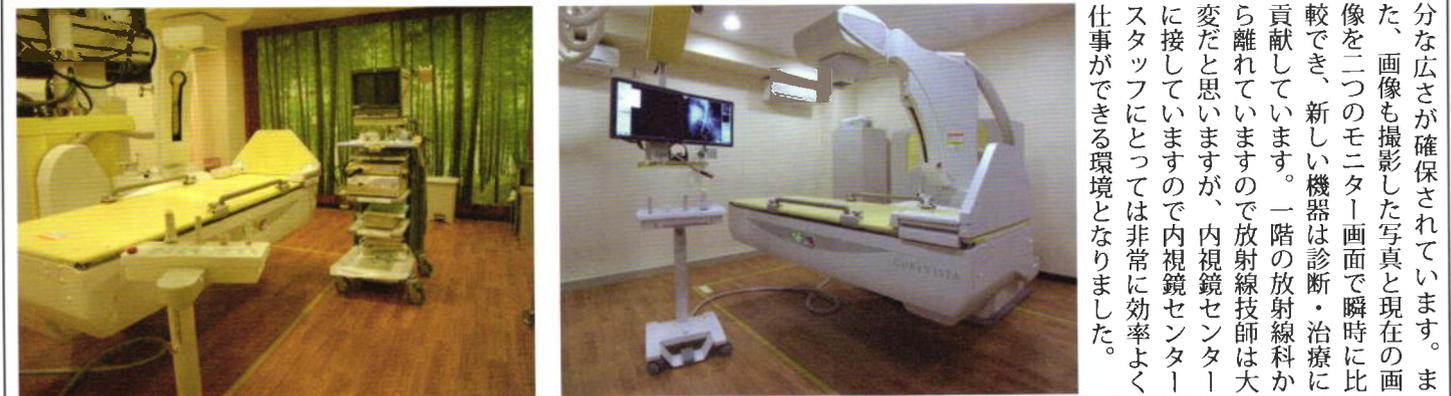
副院長 坂田泰志

64列CTの設置により一階の透視室はCT室の一部となったため、二階の旧手術室へ移転しました。透視室では患者にX線を連続照射して作られる動画をモニターでみながら、検査・治療を行います。室内で医療スタッフが検査や治療を行う場合は鉛の入った放射線防護服を着ています。撮影画像はデジタル化され院内のパソコンでみられるようになります。

透視室で行う胃や腸の検査はバリウムを飲んで行う胃透視(検診車でおこなう集団検診と違い、食道十二指腸も撮影します)が最も多いのですが、小腸透視や肛門からバリウムを注入する大腸透視も行われています。治療としては小腸イレウス(腸閉塞)患者の治療である経鼻イレウスチューブ挿入や大腸がんなどによる大腸の閉塞の治療である経肛門的イレウスチューブの挿入も透視室で腸管をみながら行います。胆のう、胆管の検査・治療も透視室でおこなうことが多いです。外科医や肝臓専門医の井手医師がおこなう経皮経肝胆管ドレナージ(PTCD)は総胆管結石や胆管がんで胆管が閉塞した患者に皮膚から肝臓を穿刺する治療法です。また、経皮経肝胆のうドレナージ(PTGBD)は炎症の強い胆のう炎患者の胆のうを穿刺して感染胆汁を排液する方法です。これらは超音波装置と透視の機器を使用して行います。

内視鏡センターのスタッフがおこなうのは総胆管結石、胆管がんの検査である内視鏡的逆行性胆管・膵管造影(ERCP)、胆管閉塞の治療で行う内視鏡的十二指腸乳頭切開術(EST)や内視鏡的逆行性胆道ドレナージ(ERBD)です。これらは透視室内で内視鏡を使用して行います。昨年はERCP五一例、EST十九例、ERBD二十九例行っています。当院規模の病院の中ではかなり多い方だと思います。

内視鏡を使用する検査・治療時には、苦痛軽減のために鎮静剤や麻薬を使用することが多く、透視室内には内視鏡機器、施行医以外に心拍監視モニター、患者の状態を観察するナース、検査や治療を介助する医師やナースが必要です。以前の透視室と比べ、今回は多人数が入っても十



分な広さが確保されています。また、画像も撮影した写真と現在の画像を二つのモニター画面で同時に比較でき、新しい機器は診断・治療に貢献しています。一階の放射線科から離れていますので放射線技師は大変だと思えますが、内視鏡センターに接していますので内視鏡センタースタッフにとっては非常に効率よく仕事ができる環境となりました。

ヘルスアップ事業

(平成二十三年度)の

まとめ

健康管理センター 保健師 矢川 愛

特定健診・特定保健指導が始まり、もうすぐ四年が経ちます。「メタボリックシンドローム」という言葉もすっかり定着し、みなさんの周りでも「メタボ」という言葉が飛び交ってはいませんか? テレビや新聞でももちろん、雑誌での特集、最近ではCMでも健康や病気の予防に関するものが増えてきました。以前にも増して、社会全体で健康への取り組みが行われているように感じます。

さて、当院ではどうかと言いますと、もちろんそういった流れに反してはいません。鹿島市だけでなく周辺地域の皆様がより健康でいられるよう、さまざまな取り組みを行っています。糖尿病の方を中心に、糖尿病予備軍や糖尿病に関心のある方も対象として、料理教室とウォーキング教室を年に各二回ずつ、さらに世界糖尿病デーに合わせて糖尿病市民公開講座を行いました。医師や看護師、管理栄養士、理学療法士、保健師など当院のさまざまな職種のスタッフが専門性を発揮し、コミュニケーションをとりながら参加者との交流を深めています。また、鹿島市国保の方を対象にウォーキング教室(全一〇回)を行いました。秋の心地よい気候の中、市内さまざまなコースを歩くことで、からだを動かすこ

との楽しさを感じていただくことができました。様々な情報が溢れているなかで、私たち専門スタッフは、ひとりひとりに合った正しい情報を提供していきながら今後も取り組みを続けていきたいと思えます。スタッフの皆様、イベントの際には患者様だけでなく地域の方へも声かけをお願いします。



料理教室



ウォーキング教室

ゆうあい一座の((にわか))行脚

ゆうあい介護保険サービス 神代 修



「にわか選手権」で、グランプリ(平成22年)・準グランプリ(平成23年)と2年連続受賞!

ゆうあい一座は、ゆうあいビレッジの介護スタッフやケアマネジャーなど多職種スタッフで構成される佐賀にわか劇団です。「にわか劇」を地元鹿島の方で演じ、それを通して介護保険制度や高齢者介護や認知症介護について面白くかつ分かりやすく伝えています。

始まりは、6年前にゆうあいビレッジ内イベントでグループを結成して公演をしたことがきっかけでした。結成当初は地元の公民館を中心に老人会などで公演を繰り返していましたが、現在では鹿島で開催される「ふくしのつどい」や、佐賀市で開催される「にわか選手権」に毎年参加しております。「にわか選手権」は、文字通り県内のにわか劇団が力を競い合う大会ですが、平成22年はグランプリを受賞し、平成23年は準グランプリに輝きました。その結果、鹿島市だけでなく佐賀市などからも、また高校や短期大学での公演依頼も増え、今年度は別表のように年間二十件以上でした。さらには、東日本大震災のチャリティー公演にも二度参加させていただき、「にわか劇」を通して「笑い」と「支援」を届けることができたとても喜んでおります。

介護を通してはもちろんですが、にわか劇を通して「笑い」を提供し「笑顔」を頂くことは私たち介護スタッフにとってかけがえない喜びであり、喜びが楽しさに繋がっています。今後も、地域の方々が介護方法や認知症や法制度について、少しでも理解しやすいように「にわか」を演じて行きたいと思っています。そして地域の方々が、住みなれた地域でいつまでも安心して生活が送れるようにお手伝いできれば幸いです。

「にわか選手権」は、文字通り県内のにわか劇団が力を競い合う大会ですが、平成22年はグランプリを受賞し、平成23年は準グランプリに輝きました。その結果、鹿島市だけでなく佐賀市などからも、また高校や短期大学での公演依頼も増え、今年度は別表のように年間二十件以上でした。さらには、東日本大震災のチャリティー公演にも二度参加させていただき、「にわか劇」を通して「笑い」と「支援」を届けることができたとても喜んでおります。

月日

- 1月14日
- 1月26日
- 2月5日
- 4月13日
- 5月7日
- 5月11日
- 5月20日
- 5月24日
- 6月15日
- 6月22日
- 7月12日
- 9月3日
- 9月17日
- 9月18日
- 9月19日
- 9月23日
- 10月23日
- 11月6日
- 11月12日
- 11月18日
- 11月19日
- 11月20日
- 12月11日

場所

- 佐賀宝蔵寺
- 能古見保育園
- 若殿分公民館
- 大村方公民館
- 佐賀市
- 鹿島市市民会館
- 中村公民館
- 西部中
- 納富分公民館
- 西牟田公民館
- 鹿島商工会議所2階
- 土穴公民館
- 貝瀬公民館
- 市民会館
- 馬渡公民館
- 塩田町なかどり公民館
- 清川
- 歌垣の里⇒ふくどみゆうあい館
- 鹿島市市民会館
- 西峰団地集会所
- 西九州大学
- のごみふれあい館
- 佐賀市民会館

対象

- 檀家
- 園児
- 長尾民生委員
- 独居老人食事会
- 春久一座
- 食改協
- 独居老夫婦老人食事会
- 西部中1年生
- 老人会
- あやめ会
- 商工会女性部
- 敬老会 老人会
- 敬老会 老人会
- 鹿島市生涯学習
- 馬渡老人会
- 老人会
- 松操会
- GH協会
- ふくしのつどい
- 独居高齢者
- 西九州大学
- GH協会
- JA佐賀

テーマ

- おれおれ詐欺
- 昔話にわか劇
- 介護劇+運動
- オレオレ詐欺(宝石買取編)
- 東日本チャリティーにわか
- 老々介護
- オレオレ詐欺(地デジ詐欺)
- 高齢者とのふれあいについて
- 悪徳商法に気をつけて
- 施設のこと:ゆうあいフェアの宣伝
- 認知症になつての対応と介護保険申請について
- 敬老の日
- 敬老の日(悪徳商法・ゆうあい宣伝)
- チャリティーにわか鹿島
- 敬老の日
- 敬老の日
- 介護保険の対象者、認知症
- 病院へ行くこう
- ゆうとく神社
- おれおれ詐欺
- おれおれ詐欺
- 水戸黄門
- 絆



にわか選手権



悪徳商法の介護劇

第十六回ゆうあい研究発表会 (QC発表会)開催！連携をテーマに！

人事課 宮崎公志

平成二十三年十二月十七日(土)、大正屋で第十六回院内研究発表会が開催されました。昨年度までは各部署より業務改善や技術向上など様々な内容で発表を行ってききましたが、今年度より形式を一新し、すべてQC活動での発表となりました。QC活動については、一昨年より研究を重ね、昨年度はリーダークラスで試験的に実施、今年度より全部署で取り組むこととなりました。昨今、医療・介護ではチーム医療・セクト意識の排除などがささやかれ横のつながりが重視されておき、「連携」を統一テーマとしました(資料1参照)。

QC活動はもともと製造業で取



発表者の様子



発表の様子



最優秀賞受賞者の挨拶

り生まれ、かのトヨタもQC手法を用いた業務改善により大きな成果を上げたことで有名です。当法

人でもこれまで質の向上(業務改善)にかかわる取り組みを行ってききましたが、QC活動を行うことでより効率的に改善ができるのではないかとということで取り組みを始めた次第です。
QC手法では、テーマ選定理由、現状把握、対策立案、効果確認、標準化の手順を進め、QCの七つ道具・新七つ道具を活用します。

これらの手法を用いることで取り組む内容が明確になり、かつ効率的に改善することが可能となります。今回は初めての取り組みでこれらの手法を完全に活用出来ているとは言えませんが、各部署とも改善に繋がった素晴らしい成果を発表していました。
最優秀賞は「検査を通じて深まれ「絆」を發表した放射線科が、

優秀賞は「患者様のADLを共有しよう」を發表したリハビリテーション科と「スムーズな引継ぎを目指して」を發表した手術センターが受賞しました。今後はQC手法を今以上に活用できるように勉強会等開催しながら、法人全体の質の向上に繋がるよう取り組んでいきたいと思っております。

演題	サークル名	部署
第1群 座長 機能訓練室課長 太田安幸		
さがしびとはいったどこへ ～職員間の連携～	スカイラインGPS	ゆうあいビレッジ
「電話取り次ぎをスムーズに」	チーム・スムーズフォン	医事課
書類作成の日数を短縮しよう!!	Team ビーボ君	医局秘書科
「迷子衣類を救出せよ」 ～スタッフと家族の連携～	海猿 ～衣類救助隊～	ゆうあいビレッジ
待ち時間へのカウンターアタック	なでしこ外来	外来看護部
第2群 座長 健康管理センター課長 土井弥生		
祐愛会『食の輪』 ～給食内容の認知度・理解度の向上～	愛の架け箸隊	栄養食事サービス部
私の食事は何? ～食種の食い違い?を無くそう!!～(職員間連携)	美味しんぼ	ゆうあいビレッジ
「患者様探しをなくそう!」	探し物は何ですか??患者様～!	検査科
だれかがきつと...	もっと上手に案内し隊!	健康管理センター
どがんかせんはいかん ～病棟管理表会議～	チーム虫眼鏡	連携センター
第3群 座長 3階病棟師長 辻田幸子		
『検査を通じて深まれ「絆」』	絆～kizuna～	放射線科
スムーズな引継ぎを目指して	知りたがりな私達	手術センター
NO!イージーミス!! ～配薬カートにおける配薬方法の見直し～	ドラクロワ～配薬カートを導く自由～	薬剤科
患者様のADL状況を共有しよう	あんま組合	リハビリテーション科
コメディカルチームで 退院に向かって患者様をサポートしよう!!	ジョイント さぼ一た	3階病棟看護部
リハビリとの連携を図ろう!!	KAERI隊(むかしが～るず☆)	4階病棟看護部

新任 Dr 紹介

形成外科医師 山内大輔

〔出身大学〕 久留米大学
 〔出身医局〕 久留米大学形成外科・顎顔面外科
 〔専門領域〕 形成外科一般



本年十月より形成外科の右田尚医師と交代で就任致しました山内大輔です。久留米大

卒業後、北九州市立八幡病院での二年間の初期臨床研修プログラムを修了し、その後、久留米大学形成外科へ入局致しました。入局後は飯塚病院と、久留米大学病院での勤務を経験しており、現在医師六年目となります。

医師としての経験は、今回が初めてであり、医師としての診療行為だけでなく、地域における形成外科医としての役割を意識して日々入院、手術、外来業務を行っております。不慣れな点で医局の先生方を初めとし、スタッフの皆様の支えを多大に必要とする状況であり、ご迷惑をおかけしていることかと思えます。

今後、当院での経験を積むことで、院内ひいては地域医療の中で形成外科という診療科をどう活かして頂けるかということについて、認識を深めて参りたいと考えておりますので、皆様ご指導の程、宜しくお願ひ致します。

私は専門医取得前でもあり、これまで形成外科に就任したどの医師よりも若輩ではあります。織田病院における形成外科としての業務の質を損なわぬ様、そして、皆様の御役に立てる様、自分なりにではありますが、力を尽くしていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ようこそ 鹿島へいらっしゃいませ



看護部長 徳田 俊江

新年を迎え、シスカさん、シルフィアさんが大阪から着任いたしました。最初に大阪でお会いした時は、全く私達の言葉が伝わらず通訳の方の力を借りないと意思の疎通ができませんでした。六ヶ月後の今、私以上にきれいな日本語を話せるようになりました。二人とも、母国(インドネシア)で二年以上の看護師経験がありますが、環境や習慣、そして日本語(特に佐賀弁)に慣れるまで苦労をします。皆様どうぞ暖かい佐賀弁の言葉かけをお願いいたします。また、佐賀のそして鹿島の文化をご教授がかかります。行事等のお誘いもお願いいたします。仲間になるとは壁を取り払うことだと思います。

先輩のリナさん、アデルさん、エスタさんのように早く佐賀弁で患者さんに寄り添えるよう、温かく見守ってください。



シルフィアさん



シスカさん

成人おめでとう!

- ① 成人を迎えた感想は?
- ② 成人してやってみてみたいことは?
- ③ 自己PR



松尾夏未
 栄養師サービスタ
 ①無事に成人式を迎える事が出来てとても嬉し、思います。これからは仕事に遊びに毎日充実させたいです。



宮園千春
 三階看護学生
 ①一月四日に成人式を迎え、今まで以上に責任を問われる年になり慎重な行動が求められると感じた。



芝のこみ
 三階看護学生
 ①まだ二十歳になっていないので実感はありませんが、一月八日に成人式を終え、私も成人したのだと感じています。



井上綾花
 三階看護学生
 ①二十歳を迎え、よりいっそう勉学と仕事を頑張る、立派な看護師になりたいと思えます。



限部香織
 四階看護学生
 ①成人を迎えましたが、成人を覚えられてとても嬉しです。何事にも責任を持っていきたいと思えます。



竹内雄大
 四階看護学生
 ①正直、成人を迎えたという実感が湧きません。これからの人生を有意義に過ごしたいです。



森田智也
 デザサービスいきいき
 ①二十歳になって、今まで以上に責任を持つていろいろな頑張りたいです。



江口未奈
 デザサービスいきいき
 ①無事、成人式を迎える事が出来てとても嬉し、思います。これからも周りの方々への感謝の気持ちを忘れず何にでも挑戦していきたいです。



市原莉帆
 一階看護
 ①成人を迎えるまで本当っという間でした。これからのつの間にか歳をとっていくのだと悲しい反面、大人にな



片淵悠臣
 一階看護
 ①無事に成人式を迎えられて嬉し、です。あまり実感が湧きませんがこれからは、今まで以上に責任を持って仕事を



藤家祥太郎
 一階看護
 ①無事に成人式を迎えられて嬉し、です。また、成人だという実感が湧きませんが、これまで以上に責任をもつて



松尾夏未
 グループホーム 二白
 ①全然実感がわきませんが、長いようで短かったです。これまで育ててくれた親、支えてくれた皆さんの方々に感謝ですね。またまた、子供ですす少すす立派な大人になりたいです。



中村真実
 特定施設
 ①今でも成人を迎えたという実感はありません。しかし、成人以上ということで、これまで以上に自分の仕事に責任を持ち頑張りたいと思えます。



総務課 下村 嘉恵
 ②いろいろな所に出かけてみたいです。
 ③利用者と楽しい日々を過ごせるよう頑張ります。

ハワイ研修 「アメリカと」

日本の医療の違い ほんの断片的ですが

外来師長 江口 富士子

あろは、平成二三年九月一八〜二三日の四泊六日、篠崎先生、井手リスクマネジャーの三人でハワイ研修に行ってきました。オアフ島パリモミ病院を中心に、シミュレーションセンターを見学しました。パリモミ病院内では、ER Women's center(女性専用の二次検診施設)心カテルームなどを見学しました。



ハワイ研修参加者

挿管のデモスト(様々な患者の条件を設定できるデモ人形で)ができました。この施設では、知識・技術の習得やスキルアップのためハワイの各施設から定期的に研修に來られるとのことでした。「日本にもこのような施設が欲しい」と心から羨ましく、このような場はなくても、自分たちが定期的なスキルアップを図り、知・技術の維持・向上を図りつづけていく環境づくりの必要性を感じました。

アメリカと日本の、医療の違いの一つとして、アメリカの病院には外来がない事。アメリカはクリニックが日本の外来に相当します。クリニックと病院は契約関係にあつて、入院後も主治医はクリニックの

医師です。施設や設備、スタッフを借りる形で、手術もクリニックの医師が治療に当たります。さらに述べるのなら、ビジネス色が濃いところでしょうか。集客力が見込まれる、大型ショッピングモール近郊に病院が開業され、クリニックがモール内や周



挿管のデモスト

辺に開業されています。病院は経営のハウツーに長けた優秀なスタッフを多く雇い、様々に工夫を凝らして競争しながら利用者を多く獲得できるよう、病院「企業」として経営を行っています。このような工夫は「企業」といってしまえば見も蓋もないが、患者のニーズに応えるためのサービスとして捉えれば、大いに見習う点が多々あります。

高齢化社会において日本の病院機能は変化してきています。在院日数も短縮されています。当院では八〇才以上の患者が七〇%以上です。患者の多様な変化に合わせたきめ細かなサービスを提供し、早期の家庭(社会や施設)復帰をめざした地域との連携、地域性や顧客ニーズの把握など早くから対応しています。今後も職員一人一人が同じ目的に向かう必要性を感じました。

国民皆保険である日本、アメリカでは保健加入者は四〇%程度とのこと。「地獄の沙汰も金次第」……。仮に道端で倒れている人を見つけたとして「Do you have health insurance?」と確認して救急車を呼ばないと訴訟されかねません。日本はそのような事にならない様にノ意識が無い時は答えられないから……。

全日病ハワイ研修より ～ずっこけ3人娘のハワイ珍道中～

全日病ハワイ研修に参加した3階ナース(下田、池田、竹本)のハワイ研修旅行記です。



<お勉強編>

A: 研修を受けて、一番思ったことは、「日本人でよかった」ってことかな。「国民皆保険最高!!」って思ったもん。

一同: 納得!

B: 救急車もお金かかるしね〜。

C: 貧富の差によって受けられる医療が違うし、病院によっては、診療拒否するところもあるみたいだしね。

A: 普通に仕事して収入ある人でも医療費の負担が大きいという理由で、病院に行くのが怖いというのを聞いたときもビックリした。日本じゃあんまり考えられんよね。

B: 貧富の差で受けられる医療にも差がでてる話には正直ちょっとショックだった。

C: 話は変わるけど…、ハワイの病院ってめっちゃ静かやったよね〜。

A: 音を感知する「うるさいセンサー」まであったし!

B: 他にも、検査中にメガネを掛けるだけでDVDが見れたり、不安軽減のために壁とかに癒されそうな絵や写真を飾ってあったり、療養環境にかなり配慮してあったと思う。病院自体も、テラスやカフェテリアがあったり、モニュメントがあったり、いい意味で病院っぽくない雰囲気があったよね。

A: うん、うん。環境だけじゃなくて、個人情報保護の徹底とか、検診の人に花を一輪プレゼントするサービスがあったりして素敵だなあと思ってた。

C: 更に、スタッフのモチベーションが上がる様にと、スタッフの子供の写真を廊下に飾ってあったり。患者だけでなくスタッフにも気を配っているなって感じた

よね。

B: ハワイの病院を見学して、私たちの病棟でも真似できるところは真似して、患者サービスの向上に繋げようね。

C: ことで、帰国後早速、師長さんのサポートのもと、3階病棟では療養環境の騒音を改善できるよう取り組んでいきます!

A: 「3階病棟何か変わったね。」って気づいてもらえるよう頑張っていきましょう。

B+C: おお〜!!!

一同: 笑

C: ラッキーといえば、出発するときから、台風の影響で飛行機が飛ばか飛ばないか…っていうハプニングがあって、結局飛んだんだけど、成田空港では大荷物持ってダッシュしなければいけなかったね。でも無事予定通りハワイについてラッキー〜!

B: また行きたかねえ。めっちゃ楽しかった〜。

A: もし今度行くときには、英語勉強せんと…それか、英語の話せる人と一緒に行くかね。

B: ハワイは日本語通じるって聞いてたけど、やっぱりちょっとは英語分かるとかな怖い目にあうよねえ。

A+C: 苦笑。

B: いろんなことがあったけど、いい研修旅行やったよね。

A: 医療系のことだけじゃなく、社会勉強にもなったし。いい経験したあ〜。

一同: 理事長先生有難うございました。

m (___) m



<プライベート編>

B: ハワイで一番印象に残っている事って何?

A: う〜ん、いろいろありすぎて、悩む…。

C: ホントねえ。

B: でもやっぱり、海のイメージが強いかな?

C: マジきれいかったよね!!ワイキキも、ノースショアも。

A: 確かに!!研修以外は、ほとんど海にいた記憶が…。

B: 初めて、野生のイルカとか海カメと泳いだし、滅多に会えないらしいピグミンにも遭遇できたしね。

A: さすが、ラッキーガールよね。

(3階病棟 下田奈美 池田のぞみ 竹本愛)



学会(研究会)・講演(講義)・論文発表(平成23年)

【学会(研究会)発表】

◎医学関係◎

- ・第27回総合診療ケースカンファレンス(5月18日 マリトピア)
朝長元輔「口腔内病変で発症したクローン病の1例」
- ・第293回日本内科学会九州地方会(5月28日 長崎大学良順会館)
朝長元輔、坂田泰志、松永圭司、内藤優香、大串昭彦、井手康史、西山雅則、福田佳代子、米満伸久、水口昌伸「咽頭通を主訴とし腹部症状を認めなかったクローン病の1例」
坂田泰志、内藤優香、大串昭彦、朝長元輔、井手康史、松永圭司、西山雅則、福田佳代子、水口昌伸、米満伸久「上部消化管内視鏡検査で発見された早期十二指腸癌の1例」
- ・平成23年第4回佐賀腸疾患懇話会(6月17日 佐賀大学)
松永圭司「サイトメガロ腸炎の1例」
- ・平成23年第2回西部消化器勉強会(8月25日 武雄市医師会検診センター)
坂田泰志「十二指腸の腫瘍性病変について」
- ・第41回日本消化器がん検診学会九州地方会(9月10日 佐賀大学)
内藤優香、坂田泰志、下田良、大串昭彦、安部友範、朝長元輔、井手康史、松永圭司、西山雅則、米満伸久「人間ドックの上部消化管内視鏡検査で発見された早期十二指腸癌の1例」
- ・第34回佐賀救急医学会(9月24日 唐津市文化会館)
山地康太郎「救命し得た腸管壊死を伴うS状結腸捻転の1例」
- ・第82回日本消化器内視鏡学会総会(10月21日 福岡国際センター)
朝長元輔、坂田泰志、内藤優香、大串昭彦、井手康史、松永圭司、西山雅則、福田佳代子、岩切龍一、坂田祐之、藤本一真「直腸ポリープの形態を示したサイトメガロウイルス腸炎の1例」
- ・第28回総合診療カンファレンス(11月16日 マリトピア)
大串昭彦「慢性下痢と全身浮腫で来院した1例」
- ・第101回日本耳鼻咽喉科学会佐賀県地方部会学術講演会(12月10日 ホテルマリタール創世)
高岩一貴、片岡和子、織田正道、小宗静男「当院における耳下手術統計2011」
片岡和子、高岩一貴、織田正道、梅崎俊郎、米満伸久「舌に発生した脂肪腫の1例」
- ◎看護・介護・福祉・栄養食事・放射線◎
- ・第25回佐賀県栄養改善学会(7月24日 西九州大学)
牛島久美子「病院栄養管理の現状と課題」
- ・ゆとり会(8月26日 織田病院6階セミナー室)
安部伸和「装置紹介 ～X線TV装置・CT装置～」
- ・第2回日本認知症グループホーム大会(9月10日 東洋大学白山キャンパス)

- 峯みちる、野村貴子、北川英俊「あなただけの生き方」をサポートしたい」
- ・第12回日本認知症ケア学会(9月25日 パシフィコ横浜)
市丸徳美、西村美枝子「認知症専門棟におけるグループケア活動の活性化—J-CPATを用いたケアグループの再編成を試みて—」
- ・第53回全日本病院学会(沖縄県)(10月30日 沖縄コンベンションセンター)
相原大樹、内堀奈々、河本貴子、辻田幸子「当病棟における誤嚥性肺炎で入院を繰り返す患者の実態調査」
吉村彩香「看護必要度と看護師の熟練度の関係について」
江口美美子、吉原弘子、河本健太郎、吉村かおり「手術室・内視鏡室看護師の弾性ストッキング着用による下肢周囲径と足部愁訴の変化」

【講演】

◎医学関係

- ・佐賀大学医学部地域医療支援講座(3月28日 佐賀大学医学部)
織田正道「退院調整(リエゾン)ナースの役割と地域医療連携」
- ・日本大学医学部招待講演(8月3日 日本大学医学部付属板橋病院)
織田正道「新たな時代の地域医療連携 リエゾンナースによる院内・地域の連携システム」
- ・地域中核病院研究会(8月25日 織田病院6Fセミナー室)
織田正道「総合ヘルスケアシステムの構築と地域の面連携」
- ・鹿島高校同窓会 松操会(10月23日 清川)
織田正道「豊かな長寿社会」
- ・平成23年度働き盛りの肝がん予防普及啓発事業(10月24日 鹿島商工会議所)
井手康史「働き盛りの肝がん予防出前講話」

◎看護・介護・福祉・栄養食事・放射線◎

- ・退院調整ナースの役割と地域医療について(3月28日 佐賀大学医学部 臨床大講堂)
田島まり子「リエゾンナース配置による退院支援の取り組み」
- ・認知症サポーター養成講座(5月20日 デイサービスゆうあい谷所)
石井大輔、光武耕治「地域で支えよう!!」
- ・太良婦人部講演会(6月2日 たらふく館)
下田「うつ病について」
- ・佐賀県老人クラブ大会(7月26日 佐賀市文化会館)
一ノ瀬英治「ウォーキングと健康について」
- ・認知症サポーター養成講座(8月1日 志田病院)
石井大輔、光武耕治「医療・福祉の私たちにできることは？」
- ・糖尿病市民公開講座(10月22日 鹿島市エイブル)
中島隆貴「糖尿病と運動 ～効果的な運動とは～」
- ・認知症サポーター養成講座(11月22日 柘

- 藤地区市町村圏組合 介護保険保険事務所)
石井大輔、光武耕治「地域で支えよう!!」
- ・認知症サポーター養成講座(11月22日 柘藤地区市町村圏組合 介護保険保険事務所)
石井大輔、光武耕治「地域で支えよう!!」
- ・(12月20日 鹿島市生涯学習センター「エイブル」2Fホール)

【講義】

◎医学関係◎

- ・佐賀大学医学部医学科3年生(4月25日)
西山雅則「地域高齢者医療—介護と在宅医療」
- ・鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義(3月16日・17日)
織田洋子「人体のしくみ働き、疾病の成り立ち」(感覚器系・皮膚科)

◎看護・福祉関係◎

- ・佐賀県産業技術学院講義(1月29日、2月5日、7日・鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義(3月7日・14日)
江口利信「保健・医療・福祉のしくみ」
- ・嬉野医療センター付属看護学校講義(9月7日・21日、11月2日・9日・24日、12月1日)
小森ヒロ子「在宅看護論」
- ・リハビリテーション介護研修会(10月30日 宇都宮病院)
一ノ瀬英治「トランスファーテクニックと福祉用具について」

【論文・著書】

- ・医療安全管理対策委員会：医療安全に向けた当院の取り組み。患者安全推進ジャーナル、No26,42-47,2011.
- ・坂田泰志、朝長元輔、松永圭司、内藤優香、大串昭彦、門田哲也、坂田祐之、藤本一真、水口昌伸、米満伸久：上部消化管内視鏡検査で発見された十二指腸上行脚原発性十二指腸癌の1例。日本消化器がん検診学会雑誌、49(2),266-272,2011.
- ・坂田泰志、井手康史、朝長元輔、福田佳代子、米満伸久：咽頭痛で発症したCrhon病の1例。内科、108(7),160-163,2011.
- ・坂田泰志、大串昭彦、朝長元輔、福田佳代子、米満伸久：Lansoprazoleによるcollagenous colitisの2例。内科、108(8),362-365,2011.
- ・朝長元輔、坂田泰志、大串昭彦、内藤優香、米満伸久：ステロイド内服中のSjogren症候群に生じたヘルペス咽頭・食道炎の1例。内科、108(9),541-543,2011.
- ・坂田泰志、松永圭司、内藤優香、大串昭彦、朝長元輔、岩切龍一、坂田祐之、藤本一真、水口昌伸、米満伸久：上部消化管内視鏡検査で発見された早期十二指腸癌の1例。日本消化器がん検診学会雑誌、49(5),661-666,2011.
- ・田島まり子：リエゾンナースが外来と病棟をつなぐ退院支援システム。看護163(10),82-86,2011.
- ・村川浩一監修(市丸徳美分筆)：目でわかる認知症ケアのトータルマネジメント—日本語版CPAT,厚生科学研究所,2011、東京.

ふるさと探訪

『創ギャラリーおおた』



大公孫樹(おおいちょう)



「創ギャラリーおおた」の有田焼カレーは、テレビ番組の駅弁ランキングで全国一位を獲得してから爆発的人气となったものです。今ではインターネットでの販売もされています。大量生産のレトルトにはしたくないと全て手作りのものを提供されています。

もともとは焼き物販売が本業でされており、取引先であるお客さんの接待のためにギャラリーがある店を作ろうと考えられたのが始まりです。身体に優しい二八種類のスパイスを使用し、有田の美味しい水や棚田米など素材にこだわって一週間かけてじっくりと煮込んだ愛情いっぱいのおいしいスパイスが効いているわりに深い甘みも感じられる、とても家で再現できないような味です。店舗で食べると辛さが三種類から、また具材もビーフ、ポーク、シーフード、エッグ、季節の野菜の五種類から選ぶことができます。有田焼のカレーの器もとてもかわいく

これと同時にみなさんに是非おすすめしたいのが、幸せのチーズケーキです。これも店舗やインターネットの器付きで販売されています。一口食べるだけでも濃厚なチーズケーキが口いっぱいに広がりとろけるような食感が味わえます。名前の通り、本当に幸せな気持ちにしてくれるケーキです。

西松浦郡有田町は人口約二万人の小さな町ですが、有田焼の他にも名水百選「龍門峡」、棚田百選「岳の棚田」、国の天然記念物である大公孫樹(おおいちょう)など見所たっぷりの町です。推定樹齢千年、高さ四〇m、幹回り一一・六mの大公孫樹の周りには梟(フクロウ)



幸せのチーズケーキ



有田焼カレー



大公孫樹の周りのフクロウ



大公孫樹の周りのフクロウ

(放射線科 堺 博美)

ブックエンド



【新着図書】
柴田トヨ著「百歳」

飛鳥新社二〇一一

「あふれるような気持を詩にして、人生の終わりに花を咲かせることができました。」これは百歳になった柴田トヨさんの詩集第一ページの言葉です。この本は作者が生活の中で医師、看護師に対する感謝の言葉、また生きることの幸せを綴った詩集です。

柴田トヨさんは明治四十四年生まれの百歳。九十歳を越えてから詩作を始めました。この本にはトヨさんの温かい言葉が沢山詰まっています。毎日を過ごす中で、何かに心を痛めた時や少し疲れたなと感じた時、この本は皆さんをきつと癒してくれることでしょう。

新年を迎え、目まぐるしく過ぎてゆく日々の中で、ふと息をついた時にぜひ手に取って欲しい一冊です。

(医局秘書 中元寺美咲)

【病院図書】

・武田文和監訳

「トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント 第2版」

医学書院 二〇一〇

(医事課 洲上敏文)

あけましておめでとうございます。寒い日が続いていますが体調を崩したりしていませんか？昨年は東日本大震災や福島原発事故など未曾有の大災害に見舞われ、日本中が様々なことを考えさせられた年でした。まだ復旧には時間を要し、厳しい生活を続けられています。自分たちが出来ることを考え、遠くからですが後押ししていかねればなりません。

さて、今年には『ゆうあい社会福祉事業団』という新しい法人が加わり祐愛会グループとしての初めての年。また、医療・介護の同時診療報酬改定があり、さらに変化を求められる一年となります。これまで以上に法人、地域との連携を密にし、より良い総合ヘルスケアの構築に向けて今年もがんばりましょう。

編集後記

